



初代 増永五左衛門と、身を清めて禊を経てから白装束で献上品を製造した2名の職人(写真左) 1933年に昭和天皇の福井県行幸につき献上した製品の予備複製品を初公開予定(写真右)

増永眼鏡 × 伊勢丹新宿店メンズ館

幻の昭和天皇献上品!

復刻モデル「K18眼鏡」オーダー会

3月29日(水)～4月11日(火) 伊勢丹メンズ館にて開催

1905年(明治38年)に「眼鏡産業の祖」と称される初代 増永五左衛門(ござえもん)が福井県に初めて眼鏡産業を持ち込み創業した、高級眼鏡フレーム製造販売の老舗、増永眼鏡株式会社(福井県福井市 代表取締役:増永宗太郎)は、1933年(昭和8年)に昭和天皇の福井県行幸につき献上した製品の復刻版モデルを含む「MASUNAGA G.M.S.」K18(18金製)フレームの特別オーダー会を、伊勢丹新宿店メンズ館にて2017年3月29日(水)～4月11日(火)の間、期間限定で開催いたします。

オーダー対象となるモデルは、昭和天皇献上品を0.25mm厚のセルロイドによる「巻きセル」や耳に巻き付く様なしなやかな弾力性をもつ「縄手(なわて)」など細部のディテールに渡り、完全復刻した『GMS-999』、『GMS-999C』。増永眼鏡創立100周年を機に最新の製造技術である異なる金属(K18+β-TITAN)の直接接合を採用し、昭和天皇献上品をモチーフにアップデートを施した『GMS-196』などを含めた全18型を用意いたしました。

オーダー会概要

会期	2017年3月29日(水)～4月11日(火)
場所	伊勢丹新宿本店メンズ館8階 イセタンメンズレジデンスアイウェア
価格	¥237,500～¥525,000(税別)
納期	ご注文後3～4ヶ月
種類	K18+β-TITAN 9型 / K189型(トータル18型)

ISETAN MEN'S net <http://www.imn.jp>

商品概要(主な3モデル)

	素材	金使用量	価格
GMS-196	K18+β-TITAN	8.0g	¥237,500
GMS-999	K18	11.35g	¥450,000
GMS-999C	K18	11.35g	¥450,000

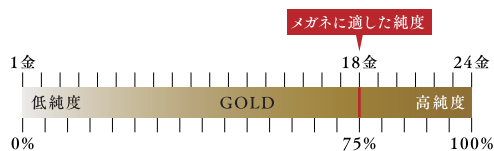
※価格は全て税抜

※「MASUNAGA since1905」のロゴ入りオリジナル木製ケースが付属

GMS-196
アップデート版GMS-999
完全復刻版GMS-999C
完全復刻版

K18 (18金)とは

純金の含有率が75%で、残りの25%に銀と銅を混ぜたものを18金といいます。また、24金とは純度100%の金のことです。24金は柔らか過ぎて型崩れしやすくメガネには適していません。一方、18金の銀と銅が混合しているものは、熱をかけて保持すると固くなり、バネ性が強くなります。メガネに最適な分率を探した当社では18金がメガネ用としては最も適していると判断しています。



増永宗大郎氏

1995年早稲田大学卒業後、日本商工会議所勤務を経て1998年増永眼鏡株式会社へ入社。2013年より代表取締役。メガネ界のアカデミー賞とも言われるシルモドールを3年連続受賞するなど、創業者増永五左衛門の意志を受け継ぎ、「良いめがね」を日本のみならず世界に向けて発信している。